

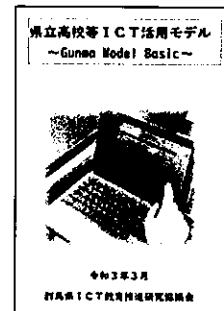
令和3年3月18日(木)
高校教育課 教科指導係
担当：関口 (内線 4646)

「県立高校等 ICT活用モデル～Gunma Model Basic～」について

県教育委員会では、群馬県 ICT教育推進研究協議会を設置し、外部有識者等からの助言も踏まえながら、教育の様々な場面において、ICTを日常的に活用するための「県立高校等 ICT活用モデル～Gunma Model Basic～」（以下「Basic」という）を作成しました。

「Basic」は、研究・開発中も全県立高校等と情報を共有し、活用を始めているところですが、来年度から各種の研修会や各教科等の研究協議会、また、学校内における授業づくりのための検討会などを通して全ての教員に周知し、全校で本格的に実践していきます。なお、以下のWebサイトでも公開します（今年度末予定）。

- ・「群馬県 ICT教育サポートサイト」<http://ict-support.gsn.ed.jp/>



1 主な内容

(1) なぜ ICTを活用するのか（共通理解）

- ・ Society5.0 の社会に向けて、生涯にわたって主体的に学び続け、仲間と協働しながら課題を発見・解決する力や情報活用能力等がこれまで以上に必要となる。
- ・ ICTを活用することで、生徒が学習履歴を振り返って次の学びにつなげたり、他者と意見を共有したり、時間的・空間的な制約を越えて外部とつながったりする機会を容易に設定できる。
- ・ 「Basic」と、令和3年度に研究・開発する「Advanced」により、生徒・教員の ICT活用能力を全県的に向上させ、「子どもが主役の学び」を推進する。

「子どもが主役の学び」の推進


- ① 群馬の環境を生かし、感性を磨きながら、デジタルで世界とつながる群馬ならではの学びの実現
- ② 全ての子どもたちの可能性をより高める個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ③ Society5.0 の社会をたくましく生きるための情報活用能力の育成

(2) どのように ICTを活用するのか（具体的な活用方法）

- ・ 学習活動やその他の業務における「Google Workspace for Education」や「スタディアアプリ」の具体的な活用方法を掲載。

(3) どのような体制で ICT活用を推進するのか（組織体制）

- ・ ICTを活用した教育を学校全体で推進していくための組織体制の編成例を掲載。

学習活動での活用 ～Google Workspace for Education～	
ソフトウェア(アプリ)	Classroom
活用場面・活用例等	生徒への連絡 生徒からの質問・回答 (例) ・学年全体への呼びかけ ・HRの連絡事項 ・授業変更 ・授業の事前準備、教室変更の連絡 等
期待される効果等	・クラス内のコミュニケーションツールとして活用できる。 ・連絡時間の短縮や、連絡漏れの防止になる。 ・生徒が自ら予定を確認して行動することが期待される。 ・感染症や災害等により登校できない状況でもコミュニケーションを取りやすくなる。
操作方法・手順等	1 学年・授業・HR単位等でクラスを作成。 2 各クラスの「ストリーム」ページに、生徒に伝えたい情報を投稿。 (権限を設定している場合、生徒からの質問等も投稿可能。) 「ストリーム」ページ 
参考:操作編1-1、1-2 投稿	

「(2) どのようにICTを活用するのか(具体的な活用方法)」の掲載例

2 スケジュール

R 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協議会の設置、開催（オンラインで計5回開催） ○ 研究校の指定（計10校） <ul style="list-style-type: none"> ・前橋高校 ・勢多農林高校 ・高崎北高校 ・高崎工業高校 ・高崎商業高校 ・桐生高校 ・桐生女子高校 ・伊勢崎興陽高校 ・尾瀬高校 ・館林女子高校 ○ 「Basic」の研究・開発
R 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会等を通して「Basic」を全ての教員に周知し、全県立高校等で実践 ○ ICTをより効果的に活用し、教科の学びを深め、情報活用能力の更なる向上を図るための「Advanced」の研究・開発
R 4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会等を通して「Advanced」を全ての教員に周知し、「Basic」と併せて全県立高校等で実践